

「酒田港大浜海岸における生物多様性(藻場造成)実験」報告書

令和2年12月

酒井鈴木工業株式会社

2020年9月に大浜の藻場へ移植したブロックの状況について12月11日に調査を行いましたので報告いたします。

1. 予定工程と実施状況

予定 1. 山形県水産試験場に Fa ブロックを提供、アカモクの幼胚を基盤に散布培養する

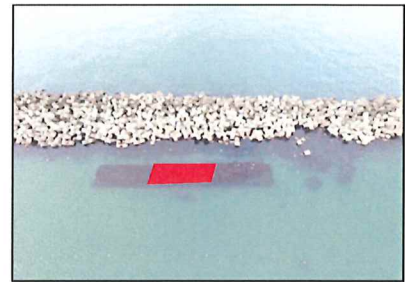
実施: 2020年3月7日 Fa ブロック20個提供

予定 2. 2020年5月 藻場中央部清掃 幅10m程度 約 80 m²

実施: 2020年9月23日から25日に清掃実施。幅10m 約 80 m²

予定 3. 10月から11月沖出し(大浜の藻場への移植)

実施: 2020年9月29日移植(2020年8月21日生育状況確認)



予定 4. 移植後の生育状況確認

実施: 2020年12月11日状況調査

名 称		2020年												2021年			備 考	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
アカモク幼胚を基盤散布、培養	予定																	山形県水産試験場
	実施	3/7BL提供																
種苗の沖出し移植	予定																	9/29沖出し
	実施																	
外洋養殖	予定																	
	実施																	
収穫	予定																	加茂水産高校
	実施																	
加工	予定																	加茂水産高校
	実施																	
幼胚採取	予定																	
	実施																	
水中調査	予定																	
	実施																	
藻場清掃	予定																	9/23~9/25清掃
	実施																	

実施状況については別添の状況写真を参照願います。

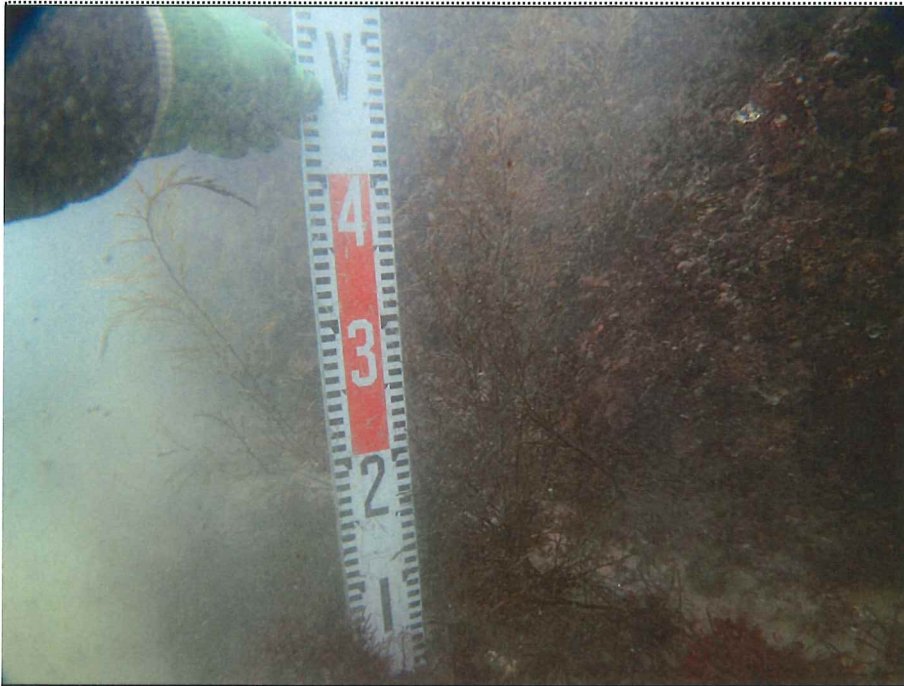
2.まとめ

9月29日の沖出し時には、水産試験場プールで育成中の巻貝による食害を確認していましたが大浜海岸の藻場実験場に移植後も、さらに食害を受けており、アカモクの成長は確認されませんでした。

調査時に貝類の生息が確認されることから、食害により全滅したものと推測されます。

また、潜水士の都合で12月初旬の調査となったことから、ハタハタが集まっておらず産卵も確認されていません。

ただし、ブロック両サイドの多年草類の植生が今年度も確認されることから、今後産卵の可能性もあり令和3年の1月に再度調査できるかを含め現在調整中です。



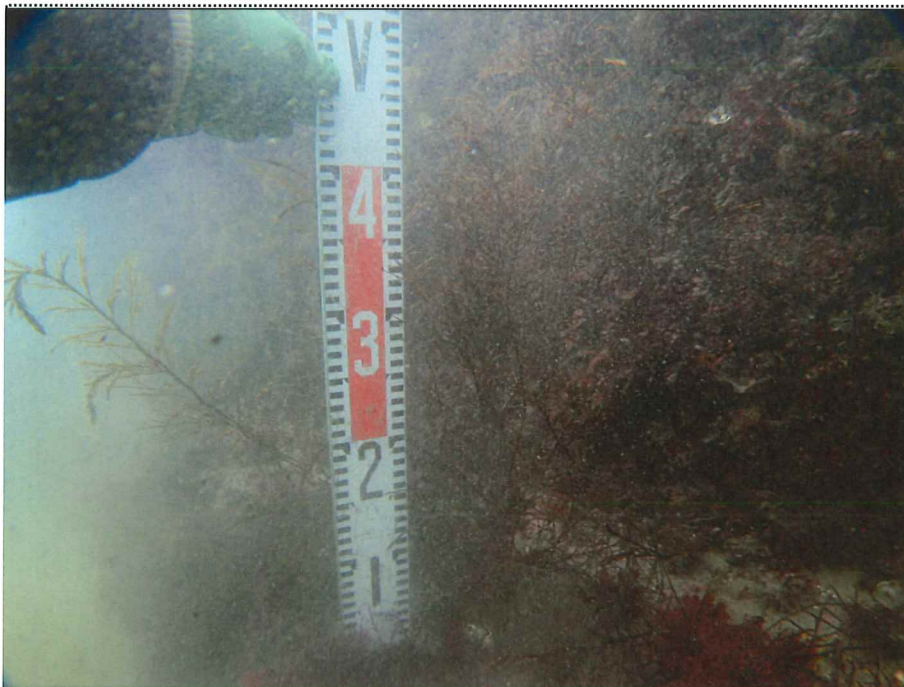
2020/12/11

藻場調査

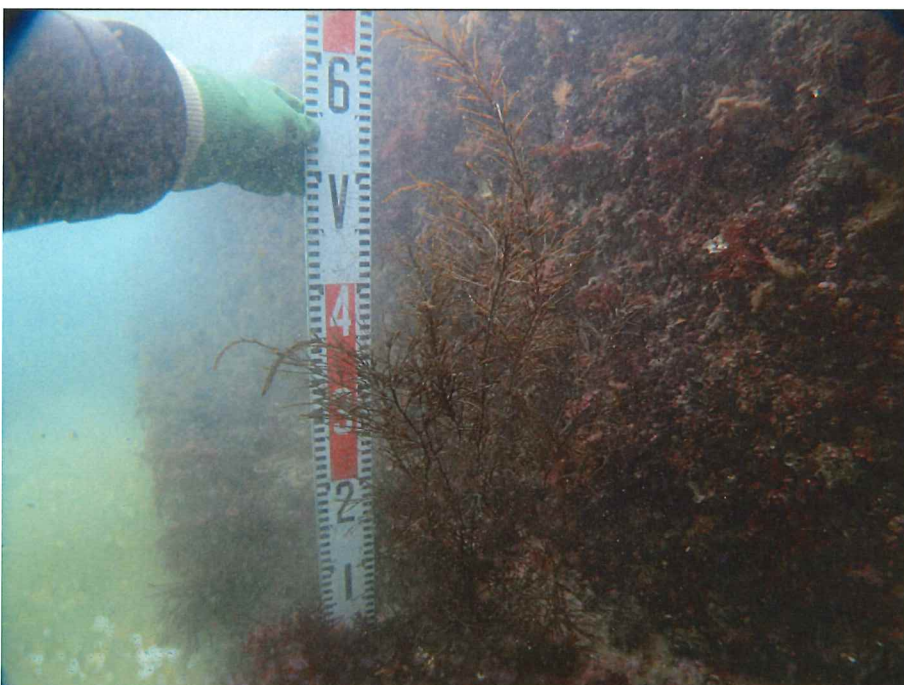
両サイドの藻場状況

多年草類のホンダワラの
成長が確認される。

40~50cm



同 上



アカモク繁殖

60~70cm